

スピリチュアル物語

169話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語』は、BRIDGE USAさんよりお引越しました

魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

Skypeセッション 1時間\$75 90分\$110

メール相談 簡易コース\$11 / 通常コース\$33



「共感と同情は少しスタンスが違うから配慮が必要？」「どう違ってどういう配慮が必要なんですか？」ウィザットとマジョリアルが続けざまに質問する。「一言で言えば、共感と両者のスタンスが同等じゃが、同情は、往々にして同情する側が同情される側よりも心情的に一段上である場合が多い」マグワートは両手の高さを変えて見せながら答え、更に続けた。「そして、共感とはポジティブ、ネガティブ双方の事柄に於いて両者の気持ち共鳴する状態じゃが、同情はネガティブな事柄のみ、つまり不幸な状況にある、ま

たはそう見える相手に対して出て来る感情という違いもある。そしてその際に、同情という隠れ蓑の中に微妙な、或いはあからさまな、優越感や時には軽蔑までもが含まれていることがあるので、配慮が必要なんじゃよ」「つまり同情は真実の愛から出た感情ではない場合もあるっていうことですか？」マジョリアルが悲しそうな顔をやる。「そうじゃな、言ってみれば共感と同じ船に乗っている感覚、同情は対岸の火事という感覚かも知れん」「対岸の火事？」ウィザットの言葉に「所詮、対岸の火事は相手にのみ降りか

かっている災難であり、こっち側にある自分の家は安泰ですからね」マジョリアルが応えると、マグワートが続けてこう言った。「人は潜在的に相手と比べて自分は恵まれている、平和な状態にある、ということを確認し安心したいという生得的（本能的）な傾向が内在している生き物じゃが、そこを自問し配慮することでピュアな共鳴による絆を深めていきたいものじゃな」



★これまでのお話(1~168話)は魔女ともえのwebで読むことができます。

www.majotomoe.com 9月9日号につづく